

# 高齢者守れ 車両にステッカー

## 刈谷 協力企業が決起大会



タイヤローラーにステッカーを貼る近藤会長（中央）ら＝刈谷市小垣江町で

事故の被害者となりやすい高齢者を守り、県の交通事故死亡者数全国ワーストを返上しよう、刈谷商工会議所、刈谷署、刈谷市の三者が、企業の車両にステッカーを貼って安全意識を高めてもらう活動を始めた。同市小垣江町の駐車場で二日、協力企業が集まり決起大会が開かれた。

「歩行者保護」を掲げるステッカーを作った昨年続き、トヨタグループ発祥の地からマナー向上を図る取り組み。同グループ七社をはじめ、商工会議所の会員企業に参加を呼び掛け、現時点で計五十事業所が協力の意志を示している。



「トヨタ車発祥の地から交通事故根絶 高齢者保護宣言」と表記したステッカー（縦十センチ、横二十二センチ）を四千枚作製。営業車やトラックなどに貼り、モデルカーとして高齢者に対する気配りを広めてもらう。決起大会でステッカーを交付し、代表して刈谷安全運転管理協議会の近藤純子会長（六）＝近藤組社長＝らが道路舗装を固める重機「タイ

ヤローラー」に貼った。

刈谷署の山口兼司署長は「市内では今年、死亡事故こそないが、九月末までに九十一人の高齢者が事故でけがをした。高齢者が安心して通行できる環境をつくりたい」とあいさつ。企業を代表してデンソーの社員が「高齢者を見掛けた際は必ず速度を落とします」と宣言した。（神谷慶）